

平成 24 年 2 月 1 日

プレスリリース

社団法人 海外環境協力センター

## カーボン・オフセット認証制度における認証案件について（お知らせ）

- 平成21年3月に環境省より公表された「カーボン・オフセットの取組に対する第三者認証機関による認証基準(Ver. 1.0)」(以下、認証基準)を受け、気候変動対策認証センターは、同年4月30日に、各界の専門家で構成される運営委員会を開き、その審議結果に基づき当制度が開始されました。
- また、平成23年4月に環境省より公表された改定後の認証基準(Ver.2.0)を受け、気候変動対策認証センターでは、カーボン・オフセット認証制度実施規則等のその他の書類の改定を行いました。
- 平成23年11月16日及び平成24年1月24日のカーボン・オフセット認証委員会の審議を経て、7件が認証を得ましたのでお知らせいたします。現在までの認証案件数は、82件となりました。

### 1. カーボン・オフセット認証制度の概要

カーボン・オフセット認証制度は、環境省の「カーボン・オフセットの取組に対する第三者認証機関による認証基準」に基づく認証制度であり、適切なカーボン・オフセットの取組に対してカーボン・オフセット認証ラベルの使用を認め、信頼性の高いカーボン・オフセットの取組の普及を図り、国民による温室効果ガス排出量の認識及び一層の削減努力を促進することを目的としています。



### 2. 認証案件の概要

平成 23 年 11 月 16 日および平成 24 年 1 月 24 日に開催されたカーボン・オフセット認証委員会の審議を経て、次の 7 つの案件が認証を取得しました。

申請者名	案件名	認証区分	案件の概要	
財団法人運輸低公害車普及機構 (三菱 UFJ リース)	カーボン・オフセット付 CNG 車リース事業	I-1 (商品使用・サービス利用オフセット)	財団法人運輸低公害車普及機構がリース契約により提供する CNG 車両(平成 23 年度新規リース契約車および平成 22 年度リース契約のうち希望車)がリース期間中の平成 24 年 2 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日の間に燃料使用に伴い排出する CO2 の 50%をカーボンオフセットする。	
			No.	商品名
			1	平成 23 年度新規にリース契約を行った 207 台の CNG 車(2～4 トン車)
			2	平成 22 年度新規にリース契約を行いオフセットの継続を希望する 10 台の CNG 車(2～4 トン車)
			3	平成 23 年度にリース契約を行った 3 台の大型 CNG 車

株式会社シーエーシー	株式会社シーエーシー 本社ビル設備における 電力消費（一部）にお けるカーボン・オフセッ ト	I-3 （自己活動 オフセット）	シーエーシーは、情報化戦略の立案、システム構築、システム運用管理などの IT サービスを提供している。その業務遂行過程で排出される CO2 排出量を削減するために、チャレンジ25キャンペーンに参加するなど、具体的行動を実践している。しかしながら、IT 機器の利用そのものに社業が立脚していることから、本社ビルにおける業務遂行上使用不可欠な設備(IT 機器、OA 機器、照明等。空調設備を除く)の電力消費は、自助努力のみでは低減困難である。そこで、この電力消費に伴うCO2排出量のカーボン・オフセットを実施する。なお、カーボン・オフセットの取組は今回で3年目となる。												
住友スリーエム株式会社 （株式会社リサイクルワ ン）	3M™ ダイノック ™ カー ボン・オフセット付き内 装用フィルム	I-1 （商品使 用・サービ ス利用オフ セット）	<p>本商品は、3M が製造・販売する内装用フィルムに、カーボン・オフセットを付与した商品である。</p> <p>本商品は、製造工場での省エネ等の CO2 削減活動に可能な限り取り組んだ上で、原料調達・製造・流通・廃棄工程中の CO2 排出量を算定した上で、その全量を京都クレジット(CER および AAU)でカーボン・オフセットしている商品である。</p> <table border="1" data-bbox="960 1236 1497 1644"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>商品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ファインウッド FW シリーズ(型式頭に FW が付く全 124 商品)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ウッドグレイン WG シリーズ(型式頭に WG が付く全 132 商品)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>シングルカラー PS シリーズ(型式頭に PS が付く全 75 商品)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>スクリーンホワイトボードフィルム PWF-500(単品)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ホワイトボードフィルム WH-111(単品)</td> </tr> </tbody> </table>	No.	商品名	1	ファインウッド FW シリーズ(型式頭に FW が付く全 124 商品)	2	ウッドグレイン WG シリーズ(型式頭に WG が付く全 132 商品)	3	シングルカラー PS シリーズ(型式頭に PS が付く全 75 商品)	4	スクリーンホワイトボードフィルム PWF-500(単品)	5	ホワイトボードフィルム WH-111(単品)
No.	商品名														
1	ファインウッド FW シリーズ(型式頭に FW が付く全 124 商品)														
2	ウッドグレイン WG シリーズ(型式頭に WG が付く全 132 商品)														
3	シングルカラー PS シリーズ(型式頭に PS が付く全 75 商品)														
4	スクリーンホワイトボードフィルム PWF-500(単品)														
5	ホワイトボードフィルム WH-111(単品)														

<p>横浜市資源リサイクル事業協同組合 (カーボンフリーコンサルティング株式会社)</p>	<p>平成23年度「環境絵日記」における、参加小学生のカーボン・オフセット</p>	<p>Ⅱ (自己活動オフセット支援)</p>	<p>環境絵日記とは、横浜市内の小学生を対照に、「もったいない」「3R」「環境」など、エコなキーワードについて、家庭で考え、絵と文章で表現する取り組みである。 環境絵日記の取り組みを通じて、小学生に対して、日常活動(テレビの利用時間等)におけるCO<sub>2</sub>の排出量についての周知を行い、日常でのCO<sub>2</sub>の排出量を削減するよう啓発している。2011年度の環境絵日記においては、小学生にもわかりやすいように、1人あたりの家庭における1日の排出量のなかでテレビや冷蔵庫等から排出されるCO<sub>2</sub>(1.71kg)のうちの1kgを、環境絵日記に応募することでオフセットできる仕組みになっている。 オフセットには岩手県釜石地方森林組合において創出されたJ-VERを利用し、参加した小学生が温暖化対策活動を通じて、震災復興にも貢献できる仕組みとなっている。</p>						
<p>キャンノンマーケティングジャパン株式会社 (株式会社リサイクルワゴン)</p>	<p>釜石市森林組合の森林管理プロジェクトから創出された木材とJ-VERを活用したノベルティのカーボン・オフセット</p>	<p>I-1 (商品使用・サービス利用オフセット)</p>	<p>キャンノンマーケティングジャパンが、販促活動でお客様に配布する岩手県釜石市の国産材を活用したノベルティの、原料調達から廃棄までにかかるCO<sub>2</sub>排出量を、同地域で創出されたJ-VERを活用してオフセットする。</p> <table border="1" data-bbox="962 1099 1490 1189"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>商品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>写真立て</td> </tr> </tbody> </table>	No.	商品名	1	写真立て		
No.	商品名								
1	写真立て								
<p>オホーツク紋別空港ビル株式会社 (株式会社エコノス)</p>	<p>オホーツク紋別空港ビルのカーボン・オフセット 運営に係る電気使用、ボイラー利用から排出されるCO<sub>2</sub>をオフセット</p>	<p>I-3 (自己活動オフセット)</p>	<p>オホーツク紋別空港ビル施設における電気・ボイラー使用に係るCO<sub>2</sub>排出量を算定します。2月～8月までを算定対象期間と設定し、総排出量約86t-CO<sub>2</sub>をオフセットします。</p>						
<p>サッポロビール株式会社 (株式会社エコノス)</p>	<p>カーボン・オフセット生ビール(黒ラベル・サッポロクラシックのカーボン・オフセット)</p>	<p>I-1 (商品使用・サービス利用オフセット)</p>	<p>サッポロビール株式会社が製造販売する「サッポロ生ビール」「サッポロクラシック」を北海道工場で製造、北海道工場から札幌市内の物流拠点へ輸送する際に排出されるCO<sub>2</sub>排出量を算定し、約5倍相当分をオフセットします。 オフセットには、J-VER クレジット「北海道4町連携による間伐促進型森林づくり事業」を活用します。</p> <table border="1" data-bbox="962 1877 1490 2011"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>商品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>サッポロ生ビール</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>サッポロクラシック</td> </tr> </tbody> </table>	No.	商品名	1	サッポロ生ビール	2	サッポロクラシック
No.	商品名								
1	サッポロ生ビール								
2	サッポロクラシック								

※プロバイダー名は、申請代理事業者またはオフセット・プロバイダーとして案件形成に寄与しているあんしんプロバイダー制度参加者

(参考)

**カーボン・オフセット認証委員会** (一部を除き五十音順 敬称略)

奥 真美	公立大学法人首都大学東京 都市教養学部都市政策コース 教授
宍戸 旦	公益社団法人日本広告審査機構 専務理事
太田 志津子	慶應義塾大学 環境情報学部 教授
久米 伸一	財団法人省エネルギーセンター 診断指導部 部長
小坪 一久	財団法人地球環境戦略研究機関 市場メカニズムグループ 副ディレクター
藤井 実	独立行政法人国立環境研究所社会環境システム研究センター 環境都市システム研究室 主任研究員
本田 圭	長島・大野・常松法律事務所 弁護士
山岸 尚之	公益財団法人世界自然保護基金ジャパン 自然保護室 気候変動・エネルギーグループリーダー
三好 一樹	環境省 地球環境局地球温暖化対策課市場メカニズム室 室長補佐

カーボン・オフセット認証制度に関する関連情報につきましては、以下のホームページにおいて掲載しております。

- [環境省 カーボン・オフセットのホームページ](#)
- [カーボン・オフセットフォーラムのホームページ](#)
- [気候変動対策認証センターのホームページ](#)

**[本プレスリリースに関する問合せ先]**

気候変動対策認証センター(CCCCJ)事務局

社団法人 海外環境協力センター(OECC)内

担当: 佐々木・大原

TEL: 03-5425-3744 / FAX: 03-5425-3745

E-mail: [offset@4cj.org](mailto:offset@4cj.org) / URL: <http://www.4cj.org>